OKINAWA KAIHO 海邦銀行

2030年のあるべき姿（ビジョン）

沖縄海邦銀行は、経営理念である　「地域密着」「健全経営」「人材育成」のもと、SDGs（持続可能な開発目標）の趣旨に賛同し、「みどりの銀行」として環境保全に継続的に取り組み、地域金融機関の役割・特性を活かして地域経済の持続的な成長と、地域社会の活性化に貢献することで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。実現に向け以下の3項目を重点的に取り組みます。(1)自然環境の保全 (2)地域経済の発展、持続的な成長 (3)地域社会の活性化

認証期間において特に注力する活動・取組

取組概要		
経済	金融経済教育の推進、金融リテラシーの醸成	アプリ等を活用した金融経済教育の推進により、金融リテラシーの醸成およびSDGs理解の促進を図る。学生や、かいぎんスマイル基金と連携し、貧困問題解決に取り組む関係者への周知・普及を行う。
社会	役職員による地域貢献活動を実践する態勢の強化	役職員による地域貢献活動（清掃活動や育樹活動）の実践を推進する。活動の事例をディスクロージャー誌等で発信していくことにより、役職員が自発的に地域貢献活動に参加できる組織風土を醸成する。
環境	みどりの運動（緑化推進活動）の展開	緑化推進に関する啓発、実践活動としてみどりの運動を展開する。緑化に関する講演会や募金活動、植樹・育樹活動を継続し、より多くのステークホルダーが参加できるイベントを企画する。
ガバナンス	気候関連財務情報の開示	TCFD提言に基づく気候関連財務情報の開示を行う。また、統合報告書やサステナビリティレポートの制作に向けて、他社・他行事例をもとに制作を検討し、ガバナンス体制を整備する。

※「【おきなわSDGs認証制度】令和7年度更新認証の結果及び認証更新団体の取組概要について」より抜粋